

高速印刷とコンパクト設計を兼ね備え高生産性を実現  
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ製コントローラー搭載の  
ミヤコシ製1200dpiモノクロ輪転インクジェットプリンター“MJP20JXR”を発売

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノンMJ）とキヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社（代表取締役社長：上田克己、以下キヤノンPPS）は、株式会社ミヤコシ（代表取締役社長：宮腰亨、以下ミヤコシ）製の1200dpiモノクロ輪転インクジェットプリンター“MJP20JXR”を2023年10月4日より発売します。“MJP20JXR”は印刷速度160m／分、横幅6.5m設置面積11.72m<sup>2</sup>のコンパクト設計により高生産性を実現しました。またキヤノンPPS製のコントローラーの搭載により、直感的なジョブ管理とプリンター操作を実現し円滑な業務の遂行をサポートします。



MJP20JXR

国内印刷市場では、多品種少量印刷やオンデマンド印刷の需要の高まりを受けて、プリンターのデジタル化が進んでいます。中でもDPS（データプリントサービス）市場では、請求書やダイレクトメールなどに、顧客ごとに必要な情報を出力するバリエーション印刷に対応するため、デジタル印刷への移行が不可欠となっています。一方で印刷現場では、コストや設置面積の優位性から、モノクロインクジェットプリンターのニーズが依然存在しています。

こうした課題やニーズに対応するため、キヤノンMJはミヤコシ製モノクロ輪転インクジェットプリンター“MJP20JXR”を2023年10月4日より発売します。“MJP20JXR”は省スペース・高生産性を実現し、さらにキヤノンPPS製コントローラーの搭載により操作性を向上したことで、現場のニーズに即した製品仕様を実現しています。

1. コンパクト設計によりスペースの効率的運用に貢献

1台の印刷ユニットで両面印刷に対応したことにより、プリンター本体の横幅は6.5m、設置面積11.72m<sup>2</sup>のコンパクト設計を実現しました。これにより、空いたスペースへの設備追加など、限られた印刷現場の効率的な運用を通じて、生産力の向上に貢献します。

2. 新乾燥システムの導入により160m／分の高速印刷を実現

近赤外線を用いたIRヒーターを採用した新乾燥システムの導入により、乾燥効率が向上したことで、印刷速度が160m／分と高生産性を実現しました。高速印刷によりプリンターの稼働時間を短縮することで、省エネにも貢献します。さらに用紙に接触せず乾燥させることで、用紙へのダメージを軽減します。

3. キヤノンPPS製のコントローラーを搭載し、直感的なジョブ管理とプリンター操作を実現

“MJP20JXR”に搭載しているキヤノンPPS製のコントローラーは、印刷現場の意見をもとに設計しました。ボタンを少なく文字のサイズを最適化することで、直感的なジョブ管理とプリンター操作を実現し、円滑な業務の遂行をサポートします。また、印刷と検査が連動する検査装置とのシームレスな連携を実現しました。さらに、SXデータなど従来形式のデータフォーマットをPDFに変換するプリントマネジメントシステム「Connect Works Manager（コネクトワークスマネージャー）」と連携することにより、DPS特有のデータへの対応を強化し、印刷業務範囲の拡大に貢献します。

キヤノンMJとキヤノンPPSは、省スペースかつ高生産性、そして優れた操作性を実現する“MJP20JXR”により、お客様の印刷ビジネス拡大をサポートします。今後3年間で20台の販売をめざします。

製品名	価格(税別)	発売日
MJP20JXR	オープン価格	2023年10月4日

- 
- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 広報部 03-6719-9093
  - 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社  
マーケティング部 マーケティング第一課 03-6719-9642
  - MJP20JXR ホームページ : <https://canon.jp/business/solution/production/continuous-business-printer/lineup/mono-model/mjp20jxr>

### 〈株式会社ミヤコシの概要〉

社 名：株式会社ミヤコシ  
本 社 所 在 地：千葉県習志野市津田沼1-13-5  
設 立：1946年(昭和21)年05月  
代表取締役社長：宮腰 亨  
事 業 内 容：印刷機械の製造・販売

### 【主力製品】

- ・デジタルオンデマンド
- ・ビジネスフォーム
- ・ラベル印刷機
- ・商業用オフセット輪転機
- ・フィルム用オフセット輪転機

2016年に創立70周年を迎えたミヤコシは、2004年のフルカラーインクジェットプリンター「MJP600」リリース以来、オンデマンドインクジェットプリンターの開発・製造・販売を実施しています。

### 〈プロダクション印刷機におけるデジタル印刷需要の市場動向〉

日本における印刷市場は、デジタル化等の影響を受けCAGR 2021-2027 印刷量：-2.5%と全体としては減少傾向にあるものの、インクジェットデジタルプリンターによる印刷はCAGR 2021-2027年 印刷量：6.9%と拡大傾向となっています。そのため、インクジェット技術を中心としたデジタルプリントは今後も日本の印刷市場で成長する見込みです。(キヤノンプロダクションプリンティング(代表取締役社長CEO：中舛貴信)調べ)

〈主な仕様〉

製品名	MJP20JXR
印刷方式	ピエゾ式ドロップオンデマンド方式
インク種類	水性顔料
用紙搬送	ピンレス、タイトウェブ
印刷解像度	最大 1200×1200dpi
印刷速度	最大 160m/分
紙幅	7 ~ 22.5 インチ(177.8 ~ 571.5mm)
印刷幅	4 ~ 20.5 インチ(101.6 ~ 520.7mm)
印刷ページ長	4 ~ 54 インチ(101.6 ~ 1371.6mm)
用紙坪量	47 ~ 157gsm
用紙種類	上質紙、インクジェット用紙、再生紙、ノーカーボン紙、圧着はがき、コート紙
本体寸法(幅×奥行×高さ)	6,500×1,720×2,170mm (ロール to ロール構成時)
質量(用紙含まず)	5,840kg (ロール to ロール構成時)
電源	200V 50/60Hz、210A